

震災復興CMR業務（岩手県山田町大沢地区）における事業期間延伸リスクの対応策とCMJV内におけるコンサルタントの役割

玉野総合コンサルタント株式会社 統括事業部 都市整備部 浅野 誠

○キーワード

震災復興事業、CM方式、事業期間延伸リスク、CMJV内でのコンサルタントの役割

○概要

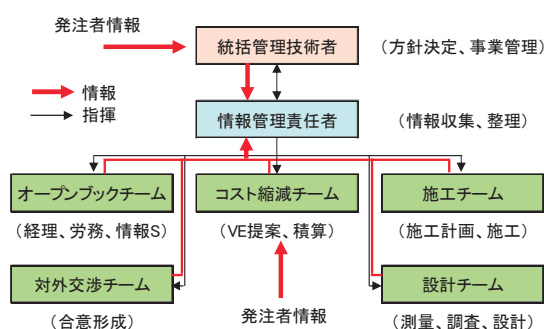
（独）都市再生機構からCM方式で発注された大沢地区震災復興事業は、マネジメント、自然や社会条件等において、事業期間延伸につながるリスクが多かった。請負者である大沢地区CMJV（奥村組、森本組、玉野総合コンサルタント、ウエスコ震災復興事業共同企業体）は、リスク・危機管理対策会議を設置し、事業期間延伸リスクに対し適切な対応策を実施し、事業計画工期内に業務を完了させた。本稿では、CM方式によるスピードアップの概念と手法を説明し、それを実際に、現場において活用したリスク削減策等やゼネコンが幹事会社としたCMJVの中でのコンサルタントの役割について報告するものである。

○技術ポイント

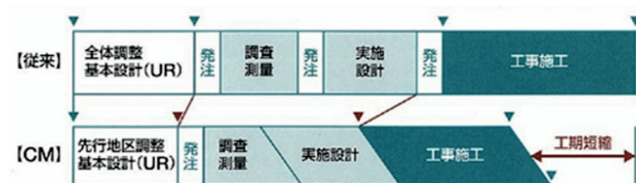
震災復興CMR業務におけるリスクと危機管理対応する項目を整理し、それらの項目について対応した。これらのリスクに対応する上でCMR方式が有効に機能した。

- ① 事前に想定されたリスク項目と実際に発現したリスクの整理
- ② リスクの内容と対策の整理
- ③ 危機管理の内容と対策の整理
- ④ CMJV内におけるコンサルタントの立ち位置の確保

○図・表・写真等



CMJVの組織体制図



CM方式による工事のスピードアップの概念

リスク特定および分担表

大項目	小項目	リスク分担		リスク対策	危機管理
		発注者	受注者		
マネジメント	1 搬出土砂等の置き場の確保	○			
	2 市町村等における土地区画整理事業の認可の遅延	○			
	3 法規制解除、許可取得の遅延	○	○		
	4 漁業組合等の地元組織との調整難航	○	○		
	5 CMを含む実行予算、補助金措置の遅延	○	○		
	6 CM体制の構築、調査等業務計画立案、業務の遅延		○		
	7 高台移転等希望者の地権者合意の遅延	○			●C1
	8 高台移転画地等、個人地権者レベルでの調整難航	○			
	9 市町村との設計協議の遅延	○	○		
	10 調査・設計業務等の遅延		○		●G2
	11 日常の工程管理、品質管理、安全管理		○		●C3
	12 事業計画変更等に伴う施工内容、数量の変更	○			●R1
	13 現地精査による施工内容、数量の変更	○			
	14 設計協議による条件変更	○			
	15 地元要望に基づく条件変更等の発生	○	○		●R2
特長技術	1 破碎工法、土運搬工法等の大幅な見直しの発生	○	○		
	2 品質の低下	○	○		
自然条件	1 地盤・地質条件の不測の事態の発生	○			●C4
	2 地下水・湧水の発生等に伴う対策工法の追加	○			
	3 気象・海象・地震・津波	○	○		
	4 作業道路、ヤード等の不足	○	○		
	5 希少種への対応	○			
	6 その他	○	○		
社会条件	1 労務、資材調達、重機確保等の遅延		○		●R3
	2 物価変動による単価の増減	○	○		
	3 地元住民に対する騒音・振動対策等、環境対策の実施	○	○		●R4
	4 周辺地域に対する泥水流出等、水質汚濁対策の実施		○		
	5 地域特性等に伴う施工条件の変化	○			●C5
新規	6 法律改正、基準改定等による設計変更	○			
	7 用地内及び周辺事業に伴う施工条件の変化	○			
	1 関連他事業との工程の不整合				●C6
	2 占用物(電柱)の移設の遅延				●R5
	3 完成宅地の受け取り拒否				●C7

※○印は想定されたリスクの分担者。●印はリスク(R)対策や危機管理(C)対策を実施したもの。